

知的障がいについて知ろう

知的障がいとは…

知的機能の障がいが発達期(おおむね18歳まで)に現れ、日常生活又は社会生活に支障が生じている状態をいいます。

知的障がいの特性は？

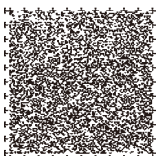
「言葉を使う」、「判断する」、「抽象的なことを考える」ことに時間がかかることが主な特徴です。

障がいの現れ方は人それぞれで、漢字の読み書きや計算は苦手だったり(逆に得意な方もいます)、一つの行動に固執したり、同じ質問を繰り返したりする方もいます。



こんなことに困っています…

- 未経験のことや、慣れない場所、初めて会う方とのやりとりでは大きな不安を感じて、うまく行動できないことがあります。
- 「何に困っていて、どうしたいのか」をうまく伝えられない場合があります。
- 急な状況の変化に対応することが、難しいです。
- 外見からは分かりにくい障がいのため、周囲の方に気付いてもらえないことがあります。

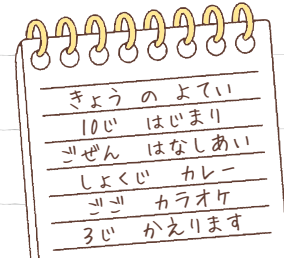


《音声コード》

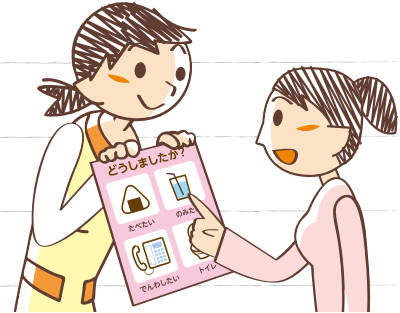
リかい
理解してほしいこと

- ◆ 先の予定がどうなるかわからないと不安になります。

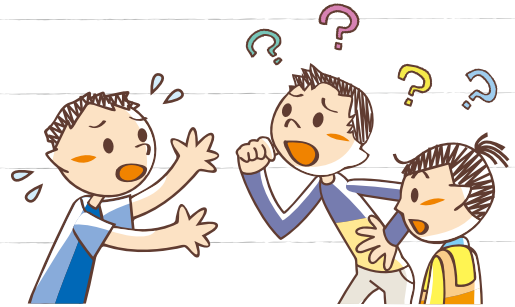
できるだけ短い文章で、身振り手振りを交え、
ゆっくり簡単な言葉で話しかけましょう。



- ◆ 人に質問したり、言葉で自分の気持ちを伝えたりすることが苦手なため、状況に応じて絵や記号、簡単な図を使って説明や意思表示するなど、その方の伝えたいことを理解するようにしましょう。



- ◆ 自分の考えをうまく伝えることが苦手です。
「早く」、「まだ?」などと急かさずに、じっくりと聞きましょう。

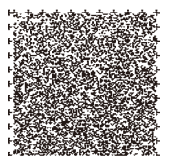


- ◆ 予定が急に変更になったり、大声で注意されたりするなど、予想外のことが起きると柔軟に対応ができず「泣きわめく」、「飛び跳ねる」などのパニック症状が起きることがあります。



このようなときは落ち着ける場所に誘導してください。

- ◆ 障がいの程度や、必要な支援内容は様々ですが、一般の会社等で働いている方も、福祉サービスを使って生活している方も、それぞれの形で社会参加しています。



おんせい
《音声コード》